

ひがし

No. 218

'54 1 / 20

人口の動き

—12月末住民登録 人口から

世帯数	952	世帯
人口	3,866	人
転入	4	人
転出	5	人
出生	2	人
死亡	2	人

先月と比較して 1人減
昨年の同月と比較して 65人減

広報

しらかわ

■ 発行 岐阜県加茂郡東白川村 ■ 編集 / 企画広報課 ■ 印刷 / 関市中部印刷区



不況なんて
知らないわ

厳しい社会情勢の中で迎えた今年も
苦しい年になりそう。

そんなことをよそに晴れ着ではねつ
きをしてはしゃぐ子らの姿に心が和
みます。

—1月3日陰地にて

———主な内容

- 新春座談会..... P.2~4
- 消防出初式のもよう..... P.5
- 歳末たすけあい募金の結果..... P.6
- 新春のスポーツ行事
のもよう..... P.7
- シベリア感情旅行記..... P.8
- 成人病検診の結果..... P.9
- 税の告知板..... P.10
- 村誌編さん室だより..... P.11
- 暮らしの中の自治用語..... P.12
- けいじ板はP.5の下欄

護を優先に

将来の夢を語る



村長を囲んで座談会風景

司会 みなさん明けましておめでとうございます。
 今日は新春座談会ということで、ひつじ年を迎えられたみなさん、それに広報モニターの方に大いに語り合っていただきたいと思っております。

村長 おめでとうございます。昨年は円高不況という厳しい年でした。なお今年もこの情勢に大きな変化はないと思われま

この中で、本村は産業・教育・生活環境の整備などあらゆる面で改革し住みよい村づくりをめざしたいと考えています。どうか卒直な意見、要望をお聞かせください。

司会 それではまず、みなさんの今年の抱負をひとことずつ伺います。

初美 私は何かに熱中することで

去る一月九日、村民センターで第二回目の新春座談会を開催しました。

今年は新年のエトにちなみ村内のひつじ年生れのみなさんを中心にした、村長を囲んでの座談会です。

地域のために 役立ちたい

生きがいを見つけれたいと思っています。今年は積極的にいろんな行事に参加すること、本をたくさん読んでみようと思います。

重秋 特に抱負というのはありませんが、しいて言えば、農家経営を安定させたいですね。

徹 私は毎年初もうでで祈願することですが、第一に健康でありたいと思います。第二には、養蚕を営んでいるためこの基盤の拡充を図りたいと思っています。

重子 今年は私の家にとってたいへん変化のある年で、嫁を迎えることになりました。よき母、よき相談相手となって明るい家庭づくりに努めたいと思います。

武一 毎年あれこれと新年の抱負を考えますが、一年経ってみると何もできていないことが多いので今年は何も出さないことにしようと思っておりますが、しいて言えば地域のために役立ちたいと考えています。



安江初美さん

政一 年をとるとだれも同じことかも知れませんが、健康で長生きしたいということと、みんなから愛される人間になりたいということを思っています。

明けましておめでとうござい
 ます。

輝かしい昭和五十四年の新春を迎え、皆様のご健康を心からお喜び申し上げると同時に、平素の村政に対するご理解とご協力に深く感謝申し上げます。

昨年は円高不況という厳しい社会情勢の中で、本村の特性を生かした地域に適した自治確立をめざし、全村民の自治意識の高揚を基調に人間の喜びと安らぎのある調和のとれた地域社会づくりと、住民福祉の向上を施策の中心として努力してまいりました。

新しい年 を迎えて

村長 安江多策

新しい年 昭和五十四年はなお厳しい年と思われませんが、全村民がうろおいのある緑といこいの場として肉体的にも精神的にも豊かな生活ができる環境の整備を図り、魅力あるふるさと、生きがいある村づくりに積極的に取り組むたいと考えています。

まず第一に個性ある村づくりです。本村は農林業の複合経営という立場から、地域の特性を活かして将来を担う若者のエネ

ルギーを重要視した施策を進めることが大切と考えます。

第二には魅力のある環境づくりであり、これは人口定住を進める基本的な課題ともいえ、道路、学校、集会施設など遅れてる生活環境を整備することにより、就業の場の確保が住みよい環境づくりにつながるものとして推進しなければならぬと考えます。

第三は、活力ある人づくりであり、産業基盤の整備や生活環境の整備などの物質的なものとともに、地域に適した発展方向を見出し、自治意識の高揚を図ると同時にこれを促進助長する人づくりも重要なことです。

山村の価値と役割を認識し、ふるさとを愛し生活に生きがいを見出すことのできる人間教育も大切なことと考えます。

以上のことを推進することでより豊かな村づくりへの足がかりとして、努力したいと思っております。みなさんの一層のご支援とご協力をお願いして年頭のごあいさつといたします。

新春座談会 緑の自然保 ひつじ年生れ

若い人たちのユーターンは考えられません。

かといって、大工場の誘致ということも地理的にいって望めないと思います。ですから、現在あるお茶や東濃ひのきの特産物などで収入が増えるような方向づけが大切なように思います。

徹 私の家では以前、山村振興事業で桑畑を起こしたことがありますが、でし上がったものは満足できらるものでなく、意欲を失ったことがあります。

今後は行政も住民の立場に立った細かな点について注意してほしいと思います。

重子 所得の向上という点から、農産加工、たとえば梅干し、らっきょう漬けなどを組織立ててやって行けるよう行政側も力を入れてほしいと思います。



安倍 徹さん

武一 最近では農業の収入だけで生活することはほとんどできない状況です。先にも話ができました東濃ひのきなどの林産物の生産で収入を増さなければなりません。

特に五加地区には林道がたりないので、早期に整備して山林所得

を増やせるようにしてほしいと思います。

重秋 村が今後考えなければならぬことは、やはり林産物の加工だと思えます。山の多い本村は木材からのいろいろな加工ができると思えます。

徹 生産・加工・販売のルートは現在の経済情勢からみて個人の力ではどうにもなりません。これは行政体・農協などで行った指導要綱をたて、財政面・流通面の確保をすることが必要だと思います。そして市場で名の通るものを作って行かないと本村の農業は片手間農業で終わってしまうのではないのでしょうか。



安江 重子さん

政一 私も今、安倍君が言われたような方法で今後と組まれたらよいと思えます。

村長 たしかに何をやるにも、流通機構の確立が大切だと思えます。いずれにせよ今後農産加工などの経営を個人でやるということは困難ですから、地域のムード作りが必要ですね。

なお、可茂公設地方卸売市場も現在建設が進められており、流通

面の確立ということはできると思えます。

司会 人口の過疎化ということについて若い人の意見もお聞きしたいと思えます。

初美 私と同年代で村外へ出てくる人の話を聞くと、村へ帰って働きたいけれどやはり働く場所がないというところば返ってきます。公害のない職場が村の中にもっと多くあればよいと思えます。

日常生活の中で

しつけする工夫も必要

司会 教育問題についてのお考えをお聞かせください。

初美 教育についてはよく分かってませんが、最近新聞紙上をにぎわしている子供たちの自殺などを考えてみると、親のあまやかし過ぎや過保護によって子供の忍耐力が失われてきているような気がします。

重子 社会教育という面で、各自が学ぼうという自覚を持っていろいろな会合へ出ることが必要なように思えます。

重秋 私は中学生や高校生たちと一般の人との交わりの場が少ないと感じています。少年非行が取りざたされている今、あれこれ注意するだけでなく、意見や要望も聞いてお互いに理解し合うことが必要ではないでしょうか。

政一 現在の教育で考えなければいけないことは、友達関係というような横の関係にも重点をおいた

教育だと思えます。



村長 安江 多策

重子 私たちの子供のころは、学校で行儀作法を学びましたが、今の子供にはそういう機会がないようでしたから教育の一環としてとり入れてくださいとお願いしたいことがあります。

重秋 私は昔のような縦の教育も必要だと思えます。

村長 教育については学校が悪いとか社会が悪いとかいろいろ言われますが、私は家庭・学校・社会の三つが一体となってやって行かなければいけないと考えます。

徹 保育園児を持つ親を対象に行った調査では、しつけ主体という結果ができました。

しかし小・中学校になると先生は勉強を教えることに手いっぱい、しつけの面にまで手がまわらない現状のようです。そこで、しつけは家庭でということになります。実際は家へ帰っても勉強勉強ということで子供たちはかわいそうです。

日常生活の中で道徳的なことを教える機会を作る工夫も必要でしょう。

身近な運動 ラジオ体操の普及を

司会 次に村民の健康管理の面で障害になっているようなことはないかお聞かせください。
武一 救急体制はどのようになっていますか。

村長 現在、本村に救急車はなく緊急の場合は白川町か加子母村にお願いしています。
武一 本村にも救急車があつてよいと思ひますが。

村長 村独自で救急体制を敷くことはたいへんむづかしい問題ですが、近い将来常設消防の設置が義務化されるようになります。そうしますと救急車の問題も解決できます。

政一 最近スポーツ熱が高まりソフトボールやマラソンで健康保持している人が多く、けっこうなことだと思ひますが、年中できる身近なラジオ体操を全村的に普及できたらよいと思ひのですが。



桂川 政一 さん

徹 ラジオ体操は、夏休み中子供たちといっしょに一般の人もやっておられるようですが、これをなんとか続けて行くことが大切ではないでしょうか。
それには職場などが率先して実施し、これを啓蒙してだんだん輪を広げる方法がよいと思ひます。
重秋 話は変わりますが、成人病検診には最近出席する人も多いようですよ。ことだと思ひます。しかし、三十歳以前の青年の健康管理という面で、以前の青年健康相談を復活してほしいと要望します。
村長 青年の健康管理はやめてしまったわけではありません。いろんな理由からもう一度検討してやりたいと思ひています。



今井 武一 さん

武一 五加地区では、茶業農家を対象とした中濃病院による精密検査が行われていますが、あのような方式で成人病の検診を実施するということはどうですか。
村長 以前は予防検診に心電図をとり入れたこともありましたが。今の管理體系からみて検診方法を新しくすることはできませんし、またその必要もないと思ひます。
みなさんに認識を深めていただくことで解決できると思ひます。



栗本 重秋 さん

小学校の開校までは 現在の議員定数で

司会 今年には統一地方選挙の年であり、議会でも議員定数について検討されましたが、本村の議員定数(十六)について卒直な意見をお聞かせください。
政一 私個人としては減らした方がよいと思ひます。しかし、現在建設中の東白川小学校が開校するまでは現状の定数でやって行かれることが望ましいと思ひます。
武一 民主主義の原則から、一人でも多くの人の意見を聞くという意味で議員の数を減らす必要はないと思ひます。

重子 現状のままでもよいと思ひます。
初美 細かい所まで目が届くというところから、各部落に一人位あつてもよいと思ひます。
徹 定数については特に意見ありませんが、現在の選挙制度は地区別推薦というような形ですから、そろそろ改められてもよいという気がします。
重秋 少数人数でもやって行けるのなら減少してもよいと思ひます。

豊かな自然と 特産物で増収を

司会 最後に、本村が将来どんな村になることを望まれるか、みなさんの描いておられる夢やご意見をお聞きしたいと思います。
徹 村の緑を生かし、ある程度人工的に手を加え整備された村であつてほしいと思ひます。たとえば国民休暇村というような形で、自然を町の人たちに与えると同時に村の産業を発展させて行けるような村になれば、と夢みています。
重秋 たいへんむづかしいことだと思ひますが、どこへ行つても通用する特徴あるいは代名詞となるものがあつる村になつてほしいと思ひます。

出席者		—敬称略—	
ひつじ	年生れ		
安江	初美 (下親田)	24歳	
安安	倍徹 (西田)	36歳	
安安	江重 (田向)	48歳	
安今	井武 (下野)	60歳	
桂	川政 (田向)	72歳	
廣報	ニター (柚本)	30歳	
栗	本重		
村	長安		
司会	企画広報課長 安江 公平		

重子 現在のように緑と美しい水や空気のある自然に恵まれた村であると同様に、若者から老人までみんなが働いていて、活気と魅力に満ちた村になつてほしいと思ひます。

武一 緑茶と東濃ひのきなどの特産物で所得の高い農林家の多い村になつてほしいと思ひます。
政一 一年をとつてから住むのにはやはり、緑につつまれ、水や空気の美しい自然に恵まれた村がよいと思ひます。また、県道の整備を早くやつていただくことにより、本村に住んでいて他町村へ働きに出ることが今よりもっと容易になると思ひます。
そして、先に言われたように所得の高い農林家の多い村であつてほしいと思ひます。
司会 長時間にわたりたくさんの貴重なご意見ありがとうございました。

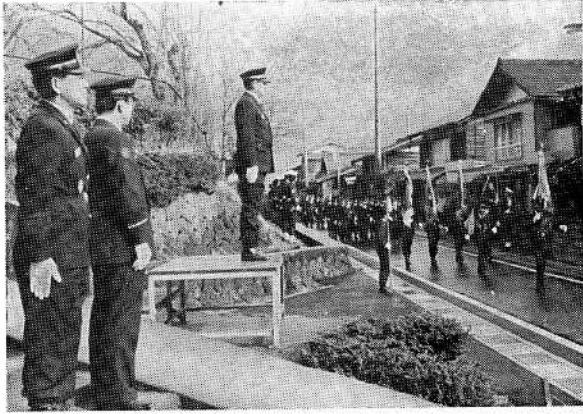
村長 どうもありがとうございました。今後の行政上でのよい指針になると喜んでおります。こうした座談会は、新春に限らず年に何回か開催したいと思ひています。お忙しい折、しかも長時間にわたつて貴重なご意見を聞かせていただき誠にありがとうございました。

小雨をついて堂々行進

新春恒例の消防出初式

一月七日、新春恒例の昭和五十四年東白川村消防出初式は、前日までの好天から一転してはだ寒く小雨の降る神戸小学校校庭で行われました。

式には木村団長以下二百人の団員と、自動車ポンプ二台、ポンプ付積載車七台、小型動力ポンプ七台が整ぞろいし、身も心もひきしめた隊列の中で開式されました。村長・団長の式辞の後、功績の



△小雨をついて行われた分列行進

あつた団員や消防活動に協力された個人・団体への感謝状授与。村内外来賓の祝辞、閲団、機械器具点検と式は進められ、このあと場所を白川沿いの県道に移し、いっせい放水が行われました。朝のうち降っていた雨もやみ、雲のきれ間から青空ののぞく空へ向け十六台のポンプからいっせいに水煙が上がり、まさに東白川村消防団の意気込みを示しているようでした。

当日表彰されたみなさんは次のとおりです。

岐阜県知事表彰

功労章—中島潮巳田口勝司
感謝状—東白川村消防友の会

神土支部

功労章—安江輝夫(消防関係)

職員

加茂県事務所長表彰

功労章—古田鉦次、桂川久巳

岐阜県消防協会会長表彰

功績章—安江貞行、安江重治

加茂郡消防協会会長表彰

功績章—今井和男、安江庚巳
有田亨、田口武、佐藤勝平、大坪兼敏

東白川村消防団長表彰

特別功労章—田口勝司
功労章—田口芳宏、梅田典孝
安江真一、安江作郎、今井邦光
小林博、安江龍夫
感謝状—大沢組

東白川村消防団長表彰

功績章—田口洋児、安江吉信
古田勝彦、安江順二、村雲直樹
栗本保彦、古田伸幸、村雲當正
田口光洋、大坪勇司、安江美好
安江兼広、今井満男、今井英信
今井建夫、野村孝、土井信行
安江春幸、桂川勇吉、安江敬吾
安江洋次、松岡洋一、今井隆秀
松岡政和、安江正孝、田口秀久
安江正彦

勤労章(五年) — 加藤司郎

今井直美、上田捷吾、安江計幸
安江純熙、安江光昭、栗本保彦
大坪恭二、古田伸幸、村雲當正
田口光洋、安江美好、大坪勇司
安江兼広、今井英俊、今井等、
栗本義和、今井章治、今井義信
栗本重秋、今井政信、今井満男
今井英信、内木正男、新田充、
また、勤続十五年以上の長きに
わたり消防団業務に貢献され、昭
和五十三年に退団された次のかた
がたに消防庁長官からの銀杯が伝
達されました。

特別表彰(県操法大会出場)

第三分団第11ポンプ
安江輝行、安江勝彦、安江広文
安江春幸、安江好成、安江常利

特別表彰(県操法大会ラッパ吹鳴)

—東白川村消防団ラッパ

元副団長

中村十美
田口学

元副分団長

栗本隆
安江利勝

元部長

伊藤重信

戸籍の窓 (十二月)



誕生おめでとう
ございます。

(中谷) 田口 光洋 朝子
豊子 二女

(黒瀨) 安江 輝行 ひでみ
陽子 四女



おくやみ
申しあげます

今井 泰樹 10歳(柏本)
古田 ゆき 82歳(宮代)

善意の寄付

次のような寄付がございました。それぞれの意志にそって活用させていただきます。敬称略

(教育費へ)

現金三万五千七百円
多治見信用金庫白川支店
(社会福祉協議会へ)

(社会教育費へ)

現金一万円 加舎尾 安江成喜
(社会教育費へ)

(五加保育園へ)

現金五千円 西洞 今井好美
(五加保育園へ)

三輪車一台

補助つき二輪車一台
柏本 今井正明

歳末たすけあい募金

史上最高の募金額

今年は94万円の善意

共同募金会東白川分会が中心となり昨年暮れ行った歳末たすけあい運動は、村内のみなさんの深いご理解と温かいご協力により九十四万二千九百五十七円という史上最高の募金額を記録することができました。

この中には、村民運動会の仮装行列の折、中通の村雲一元君（神土小五年）たちがこじぎにふんして集めてくれたお金や、例年のように西洞の樋口智美さん（東白川中二年）・利久美さん（神土小六年）姉妹の新聞配達の手伝いでためたお金、大口の村雲いずみさん（多治見高三年）、平の沢木宏充君（神土小六年）・佳美さん（白

川高校三年）姉弟、平の安江由紀さん（神土小五年）中通の村雲春巳君（東白川中二年）たちからいづれもおこづかいを恵まれな人たちがと届けてくれたものが含まれています。

このような子供さんたちをはじめ、各職場や各種団体のみなさんからもたくさん募金をいただきました。

こうした多くのみなさんからのご厚意を十二月二十二日に民生委員が手分けし、村の人たちが入所しておられる福祉施設などを訪問し、慰問金品を贈ったのをはじめ、慰問金をお届けしました。

また、配分後にみなさんからいただいた募金は、来年の共同募金の予備費として保管させていただきます。

赤い羽根共同募金

昨年十月に行った赤い羽根共同募金については、目標額十八万八千六百円に対し募金額二十五万八千二百九十四円の好成績となりました。ご協力ありがとうございました。

一般募金

大口 6,100円	神付 10,500円	日向 26,500円	柏本 33,100円
平 65,384円	中谷 8,786円	陰地 44,847円	宮代 14,110円
下親田 19,290円	加舎尾 4,400円	栃山 13,500円	大沢 17,900円
上親田 14,700円	西洞 21,700円	黒瀬 16,930円	下野 10,280円
中通 16,500円	曲坂 21,000円	大明神 21,160円	久須見 6,470円

（教員住宅世帯は含まれていません）

配分明細

生活保護世帯 (11)	132,000
準生活保護世帯 (16)	224,000
重度心身障害者 (29)	175,000
福祉施設入所者 (15)	72,000
長期入院者 (8)	36,000
母子・父子世帯 (10)	96,000
ねたきり老人 (13)	52,000
独居老人 (13)	52,000
施設配分 (9)	55,000
慰問品 (16)	44,975

・緑茶は各施設へ配分
・白灯油は生活困窮家庭(10世帯)へ配分

団体・サークル・職場・個人

東白川商工会青年部	5,000	越原保寿園のよい子たち	3,137	丸大製材所従業員一同	5,700	平 中石石油店	5,000
東白川民謡クラブ	3,000	東白川母子センター職員	3,000	立保土木従業員一同	9,900	平 安江由紀	1,100
東白川家業改善推進協議会	5,000	東白川織機株式会社一同	3,000	太平工業株式会社一同	7,500	栢本 近藤富雄	5,000
上・下親田長壽婦人会	18,515	神付建設従業員一同	10,000	村雲建設従業員一同	10,000	加舎尾 安江智代	2,000
平西カミソリグループ	3,000	村雲建設従業員一同	5,000	森林組合職員一同	4,000	平 栗本隆夫	3,000
東白川民生委員協議会	27,000	神土保寿園職員一同	2,300	木材建設従業員一同	3,000	日向・桂川肇子・榎子・晴雄	3,000
木原会	3,000	越原保寿園職員一同	1,200	東白川病院職員一同	4,007	白田阿 清水トモエ	10,000
新日本婦人の会	10,000	山日本工所従業員一同	3,700	東白川病院看護婦一同	10,000	栢本 栗本ふくよ	2,000
陰地カミソリグループ 今井次子館	4,000	こしはら商事一同	6,000	東白川産業株式会社一同	10,000	日向 桂川ちき	1,035
村雲会議員一同	12,800	田口建設従業員一同	9,000	又十製材所従業員一同	8,000	日向 安江のこ	2,000
長壽カミソリグループ	2,000	丸登製材所従業員一同	4,900	丸土土木従業員一同	10,000	中通 村雲春巳	2,876
平松成マツダ支部	5,000	東白川村役場職員一同	44,277	常製材所従業員一同	5,000	白田阿 渡辺恒雄	2,000
長寿会一同	4,600	東白川機械センター一同	2,069	東白川農業協同組合窓口携い	2,962	大口 村雲いづみ	1,310
日向カミソリグループ	5,000	東白川中学校職員一同	5,000	陰地・越原公明	10,000	平 沢木さきの	3,650
明るい社会づくり推進協議会	5,000	こめや木材従業員一同	4,000	中通 村雲一元 他	8,594	平 沢木宏夫	250
部連学会東白川大ブロック	8,537	安江建築一同	5,000	日向 村雲一 他	10,000	平 沢木佳美	300
曲坂カミソリグループ	5,000	山田土建株式会社一同	15,800	西洞 樋口智久美	2,400	平 安江里子・蘭郎	889
東白川体育協奏クラブ	9,200	村雲工業従業員一同	4,604	西洞 今井虎一	5,000	中通 安江英幸	3,600
東白川青年団一同	8,660	三和木材従業員一同	15,400	下親田 島倉浩子	5,000	曲坂 安江時子	2,000
東白川中学校生徒会	8,193	共立木工従業員一同	5,000	上親田 安江登巳郎	2,638	後堀壺口坂い	1,292
五加小教職員・児童会	4,265	東白川郵便局職員一同	5,000	曲坂 高田良香	1,001	沢名 (5名)	6,208
神土小教職員・児童会	11,247	丸登建設株式会社一同	12,401	曲坂 今井隆吉	1,000	こしはら商事 緑茶2kg缶	10缶
越原小教職員・児童会	7,283	大坪木工所一同	3,500	日向 安江篤生	4,000	富士屋石油店 白灯油8kg缶	10缶



▷登校前に新聞配達する樋口智美さん

新春のスポーツ行事

親ぼく兼ね和やかに

新年早々のスポーツ行事として一日の午後からは中学校のホールで剣道の初げいこが、また二日には第六回を迎えた新春バスケットボール大会、三日には昨年から行われている新春バレーボール大会が東白川体育館で行われました。



バレーボール大会で優勝した男子(上)女子(下)のメンバー



剣道の初げいこには、中学生剣道部員、高校生、一般五十人余りが参加し、二時間余りにわたってげいこしました。
中学剣道部員の中には数人の女子生徒も混じっていて黄色いかけ声もホール中にこだましていました。
二日に行われた第六回新春バス

ケットボール大会には、男子六チーム、女子三チームが出場。そのチーム構成は、一般チーム、中学生チーム、東白川中学校卒業年度別編成チームなどバラエティーに富んだものです。
また、三日の第二回新春バレーボール大会には、男子五チーム、女子四チームが参加し、これもま

たバスケットボールと同じようなチーム編成で、終始なごやかなふんい気のうちに試合が進められました。

当日の結果は次のとおり。

バスケットボール

男子の部

一位 五十一年度卒業生チーム

二位 一般チーム

三位 五十一年度卒業生チーム

女子の部

一位 四十八・五十一年度卒業生チーム

二位 中学三年生チーム

三位 中学一・二年生チーム

バレーボール

男子の部

一位 五十一年度卒業生チーム

二位 一般Bチーム

三位 一般Aチーム

中学二年生チーム

女子の部

一位 五十一年度卒業生チーム

二位 一般チーム

三位 中学二年生チーム

中学一年生チーム

お正月といえは、だれもが自宅にとしこもって寝正月といった感じのする昨今、本村ではこうしたスポーツ行事を通じて村内の人たちと、村外の高校、あるいは職場で働いている人たちとの親ぼくをかりたいと考えています。
これは、過疎化の進んでいる本

建設が進む東白川小の

校章についてご意見を

五十五年開校をめざして、東白川小学校の校舎、学校食堂など建物の建設が予定の工程どおり順調に進んでいます。このまま工事が進みますと五十四年中には、新校舎の内外ともできあがりその全ぼうがみなさんにお目見えするわけです。

この新しい東白川小学校のシンボルとなる校章については、末永く村民に親しまれ、児童にも愛着をいだかせるような意匠が必要ではないかと考えます。
村では、校章についての村民のみなさんご意見、ご希望をお聞きし校章作成委員会ですらに検討

を加えて決定していただくよう準備を進めています。
みなさんの中には、すでにこんな校章が新しい東白川小学校にふさわしいとか、こんな形のものがないとかいろいろと頭の中に描いておられる方も多いのではないかと思います。そうしたご意見、ご希望などをぜひお聞かせいただきたいと思ひます。

ご意見、ご希望などは東白川小学校校章作成委員会(教育委員会事務局内)へお寄せください。
お寄せいただく期間は二月末日までとします。

村にとって、若い人々をユータインさせる題材として今後も注目できることすし、また、青少年の健全育成にもつながることとしてますます推進したいものです。
こうした新春のスポーツ行事は東白川村体育協会が主催し行っているのですが、協会ではより多くそして幅広い年代の人たちの参加を願っています。
今回参加されなかった人も、次回にはぜひ参加してみたいかがでしょうか。

シベリア感情旅行記



神 付
安 江 宏

〔その二〕
安江宏君のソビエト旅行記第二回目で、今回は、ナホトカの市内、世界最長のシベリア横断鉄道、第二の訪問地ハバロフスクなどを紹介します。

私たちの旅行の全日程を案内するため、ソビエト政府から二人の学生（インツーリスト）がナホトカで合流しました。次の目的地ハバロフスクへ向かう列車の出発時刻までの間、インツーリストの案内でバスでのナホトカ市内見学にかけました。バスに乗ったとたん、あまりの暑さに思わずハンカチに手が伸びてしまふほどでしたが、いったん動き始めると「冷房車」と錯覚するほど心地よい涼風がほほをかすめます。

ところで、ナホトカは第二次世界大戦中、商港として整備され、来沿岸貿易港として発展している港町です。戦中派のさまざまな暗い記憶の中で、ナホトカの名は暗い情緒につながる所のようにですが、戦後三十余年たった今、私が見たナホトカは平均年齢二十四歳

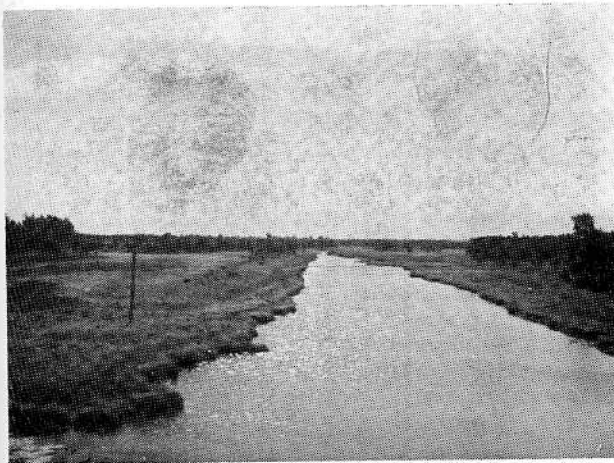
という若い働き手ばかりの躍動する活気に満ちた新しい港町でした。

ナホトカから世界最長のシベリア横断鉄道で、ソビエト極東地方の表玄関といわれるハバロフスクの町へ向かいました。途中列車の窓から見るシベリアの情景は、あまりにも膨大で果てしなく広がる地平線が印象的でした。

私たちを乗せた列車は、耳に響く「ギー・ギー」「ゴトン・ゴトン」という音をたてながら白夜の中を走り続け、十五時間後に目的地ハバロフスクへ到着。それからまっすぐホテルへ向かいました。

私たちの宿泊するホテルの名は「ホテル・インツーリスト」と呼ばれ、外国旅行者専用ホテルで、旅行してまわった主要都市のすべてでこのホテルを利用するのでした。ホテルのレストランで朝食をすませたあと「遠藤」という日本人女性の案内で郷土史博物館・コムンモリス広場・レーニスタジアム・

▽シベリア鉄道から見る広大な原野



レーニン広場などを見てまわりました。

ハバロフスクは発達した工業都市であり、極東地方の文化・科学の中心地で、かつては狩人だったリトナカイを飼育していた人たちの子孫が、現在、文化や科学の担い手として活躍しているということです。

ソビエトの広大な地では、河川が最も重要な交通路で、川に沿って政治・商業・文化の中心地が起っており、ハバロフスクもその例外になくアムール川右岸沿いに基盤の目のように広がり、この地方の中心地としてソビエト各地を結ぶ交通の要地でもあります。

季節の話題

最後に溶きバター大さじ一を混ぜ、サラダ油を塗った紙を型にはり、たねを流しこみ天火で焼きます。約四十分ででき上がりです、冷やしてからひし形に切ります。

季節の話題

三月三日はおひな祭りです。最近の子供は、ひなの節句のときには「おひなケーキ」を食べるのが楽しみの一つだということです。「おひなケーキ」というのは、ひしもちの形そのままですが、中身はスポンジケーキで、周りをうっすらと色をつけた生クリームなどで飾ったものです。生クリームのかわりにロイヤルアイシング（卵白入り糖衣）を使うと、表面が完全に固まるので上に桃の花などを飾ることもできます。

おひなケーキ

作り方は、ひし形のスポンジを焼く型はないので、縦十五センチ横十二センチぐらいの長方形の弁当箱か流し箱を利用して焼き、焼き上がったものを工夫してひし形に組み合わせます。スポンジのたねとしては、卵大三個の黄味をボウルにとり軽く泡立て砂糖四十五グラムを少しづつ加え、白くなるまで泡立て、バニラエッセンス小さじ二分の一を混ぜます。卵白三個分は泡立て塩一つまみを振るいながら加えます。

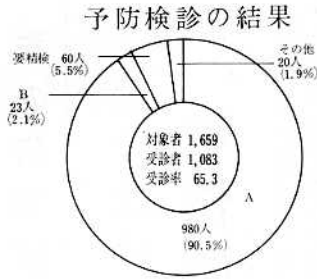


成人病

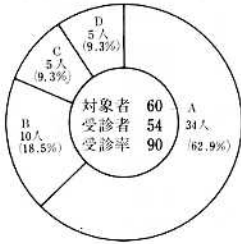
目だつ受診率の伸びと

多い健康度の認識者

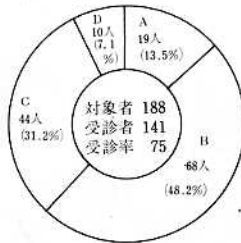
昭和五十三年度の成人病検診は予防推進員の協力を得て十二月末までに終了し、その結果次のようにまとまりました。



精密検査の結果



管理検診の結果



A.....異常なし
 B.....要観察
 C.....要注意
 D.....要治療

予防検診の特徴として、三十歳代男子の受診率の伸びがあげられます。働きがりの人の受診率が伸びたということは、大変意義あることです。

この人たちが毎年検診を受けられるようなふんい気づくりも大切なことだと考えられます。

前年度資料が出てないのでわかりにくいかもしれませんが、全体的にみても受診率は伸びを示しています。これは、検診対象者で今まで受けていなくて、今回受けたという人が多いためです。

その結果、B・Cランクになっていた人もありました。

成人病の検診を終えて感じられたことは、「自分の健康度ははっきり認識した人が多く、またその健康度を保持あるいは増進する努力をしておられる。」ということ

この努力にはいろいろとありますが、そのほとんどが誰にでもできる簡単なものです。ただし、長く続けるということが第一の条件です。ここでその例をいくつか紹介してみますと...

○おやつ時間を決めて甘いものを少なくしたら体重が減り、体の調子もよくなった。

○イライラしないで、のんびりと暮らすようにしたら、血圧が落ち着いてきた。

○過労に注意し、早めに休んで睡眠時間を多くしたら肩こりも少なくなりました。

○食べ物全体を塩分をひかえた味付けにしたら血圧が下がった。

○これらは、管理検診対象のB・Cグループの人たちだけでなく、Aグループ(予防検診対象者)の人たちにもいえます。

今年の結果が昨年と同じであっても、年によっていくものですがそれを前に以前より無理のない生活をしなければならぬと思います。

検診というのは、人に言われたからしかたなく受けるということではいけません。自分自身がより健康で楽しく生きられるよう、今一度考えてみてほしいものです。

今回は何かと酒席の機会が多い人のために、「酒に飲まれない飲み方」をお教えしましょう。

二日酔いを防ぐ

「宿酔」とも書く二日酔いは体験した人でなければその苦しさはわかりません。

二日酔いの原因にチャンポン説をあげる人がいますが、けっきよきは飲み過ぎが原因です。

二日酔いを防ぐ第一は「飲み過ぎないこと」です。

ちなみに適量といわれるのは日本酒二合、ビール二本、ウイスキーグラス四杯程度。

それ以上飲む時は時間をできるだけあけることです。

第二は酒の量以上に大切なのはつまみです。酒だけをあおらずに、食べながら飲むことをモットーに。

二日酔いになったら二日酔いは、体の中にアルコールが十分に処理されずに残っている状態です。これが頭痛・吐きけ・食欲不振などをひき起こすわけですからアルコール分を早く体外へ出してしまえばよいわけです。

暮らしと健康



酒に飲まれないために

柿やお茶に含まれているタンニンは、アルコール分の吸収をおさえると同時に尿として排出する効果があります。また、ぬるま湯に入浴する、軽い運動、などもアルコールを処理します。

昔からいわれる「迎え酒」はアルコールを体内に蓄積させるだけかえって体によくありません。

酒のサカナ

酒席は飲む合間に食べるのではなく、食べる合間に飲むというスタイルで楽しんでほしいものです。そして酒のサカナは、塩分を控えたタンパク質の豊富な食べ物が一番です。

タマゴ・肉・チーズ・豆類・カニ・魚・豆腐・レバーなど楽しみながら飲んでください。また、脂肪の富むサカナを食べると、胃壁をアルコールの刺激から守る効果があります。ここで気をつけたいことは、食べ過ぎないことです。

要は酒もサカナもほどほどに。が上手な酒の飲み方です。

税の告知板

還付受けるための

申告はお早めに

昭和五十三年分所得税の確定申告の期間は、昭和五十四年二月十六日から三月十五日までです。

なお、税金の還付を受けるための確定申告は、二月十六日より前でも受付けています。

そこで、確定申告をすれば税金の還付を受けられる場合について説明しましょう。

一、年末調整で納めた税額のあるサラリーマンのうち、雑損控除、医療費控除、住宅取得控除などを受けることができる人。

二、年の途中で退職し、その後就職しなかったため年末調整を受けなかった人。

三、特定の寄付金を支出して、寄付金控除が受けられる人。

四、原稿料や利子、配当などの収入があつて、それらを含めた全体の所得があまり多くないので源泉徴収税額を納め過ぎている人。

五、予定納税をしていたが、休業や廃業などのため所得が前年より大幅に減った人。

以上のような人が対象となります。

早く申告すれば、税金の還付も早く受けられますので、早めに済ませてください。

その他詳しいことは役場の税務係へおたずねください。



似てるかな



わたしのおとうさん

越原小2年 川尻智子
大明神 川尻市太郎さん長女

わたしのおとうさんは、山でおしごとをしています。そして、日にやけて、まっくらです。うでどけいをはめているところが、きれいです。おとうさんは、山で木をきっていてそして、雨の日はぬれてきます。わたしのおとうさんは、えらいとおもいます。

暮らしのカレンダー

*栄養教室

- ・とき 1月26日
午前9時から
- ・ところ 村民センター
- ・対象者 53年度教室生

*青年演劇発表大会

- ・とき 1月28日午前9時から
 - ・ところ 東白川体育館
- 青年団各分団による創作劇の発表、その他活動発表、村民運動会の記録など内容も盛りだくさんです。おでかけください。

*不燃物収集

- ・とき 1月29日・30日
 - ・ところ 村内各集荷場
- 一ごみは前日各集荷場へ。

*妊婦学級(後期)

- ・とき 1月30日
午前9時から
- ・ところ 村民センター
- ・対象者 妊娠後期の方

*母子健康相談

- ・とき 2月8日
午前9時30分から
- ・ところ 村民センター
- ・対象者 3・4・5か月児とその母親

*二種混合予防接種

- ・とき 2月8日
午後1時30～2時
- ・ところ 各小学校
- ・対象者 満12歳に達する者
(小学校6年生)

*フッソ塗布

- ・とき 2月15日
午後1時30分から
 - ・ところ 村民センター
 - ・対象者 歯のはえ始めから3歳までの幼児(希望者)
 - ・費用 1人1回500円
- フッソ塗布は幼児期の虫歯予防にとって非常に効果的な方法で年2回の塗布が理想的です。

*公民館講演会

- ・とき 2月18日
 - ・ところ 五加公民館…午前
越原公民館…午後
 - ・講師 岐阜名和昆虫博物館長
名和秀雄先生
- 一昆虫の世界と私たちの暮らしについての講話です。



△ 芸能発表会での演奏風景

三味線：それは古典的な音色をもち、日本人ならだれでも一度は弾いてみたい感じのするもの。そして、むっかしい曲をみんなで弾き合わせたときの喜びが忘れられませぬ。と三味線クラブは、村の文化協会発足と同時に結成加入し、活動を続けています。クラブ員は、陰地の稲垣昇会長以下八人と決して多くはありません。そのため発表会などにはお隣りの

趣味のグループ

やる気ある新人求む

三味線クラブ

けるという方式のため、他の文化クラブに比べ個人の負担は大きいようです。活動は年一回の発表会で、それからの利益を厚生資金と

多少かかるのは覚悟でやってみようと思われ方は、ぜひ入会して練習してみたいかがでしょうか。月謝料は三千円ということです。

「も弾けるようになりましてが、今後は村独自で発表会のできるよう、やる気のある新人を確保するということが課題のようです。お金は

民俗風俗あれこれ

社会生活



一村誌編さん室だより

身分階層 (一)

貢米をもって財政基盤とした近世の幕藩体制下では、農民はその生産者として武士に次ぐ地位を与えられ、重んじられてはいたものの、その実体は貢租源とみなされ御田地を預かる御百姓として、領主への御用を勤めることが百姓の本分とされていた。したがって、農民たちは自然の脅威とたたかひながら生産に従事し、支配者に納める苛酷な貢租に耐えながらも、生きぬくためには勤勞ひとすじに頼るほかはなかった。

下の階層があり上は庄屋・組頭・長百姓などのいわゆる頭百姓があり、その下に小前百姓と呼ばれる一般民階層があった。また、土地持ちで藩に対して直接貢租を納める名請人を本百姓と呼ぶのに対し、形式的には独立しているが、年貢諸役を直接には藩へは出さず、主家にあたる本百姓に納め、その労役に服している農民を脇百姓(脇家ともいう)といった。

百姓は一戸前には入らなく、半ば独立した百姓であったので半戸前などと呼ばれていた。そしてこれら上下の階層は、家格としての観念を植えつけ、寄り合いなどの席順にも反映していた。また、日常の住居や衣食などの消費生活に至るまでも、その区別はきびしく定められていた。例えば、江戸時代後期における越原村「村方諸事締方規定書」(越原桂川国男氏所蔵)の中からその一部を拾ってみると、一、婚礼の節、依類の儀は頭百姓にても木綿第一に相用い、絹・紬の類は遠慮致すべく候。附、中百姓以下は、絹布の類決して相用い申敷く候事。

加子母村から応援を受けている現状です。

このクラブには会費というものはなく、月謝制で個々に授業を受

して開催地へ寄付するという内容のもので。最近では個々の腕も上達し、この道で特にむっかしいとされている津軽じょんがら節

「も弾けるようになりましてが、今後は村独自で発表会のできるよう、やる気のある新人を確保するとい

▽今月の料理 △



かしわと野菜のちり鍋

材料

- 鶏ささみ：二百㊫・白菜：三百㊫・里芋：三百㊫・春菊：一束・人参：百㊫・こんにやく：一枚・昆布：十㊫・ねぎ：一本
- 生姜：一かけ・白ごま：大さじ四・酒：大さじ二・しょう油：大さじ五

作り方

- ①鍋に昆布を敷き、水五カップに酒を入れ沸とうさせて昆布をとり出す。
- ②里芋は皮をむき、塩ゆでにしてぬめりを取りタテに二つに切り、人参は五ミリの輪切、こんにやくは七ミリの厚さのたんざく切りにして塩ゆでにする。
- ③白菜・春菊はざく切り。
- ④①の中に白菜と春菊を除いた物を全部入れ、里芋が少しやわらかくなったら白菜・春菊を入れる。しょう油にすりごま・おろし生姜・ねぎのみじん切りなどを薬味にして食べる。



保育園児が おもちつき

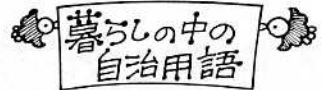
年もおし迫った12月27日、保育園の園児たちがおもちつきをしました。

園長先生がお手本を示し、そのあと年長組の園児たちが3回づつの交替で重いきねをふり上げていました。

つき上がったおもちも、その場で小さくちぎってきな粉やあんをまぶし、給食時間に食べましたが、園児たちはおいしそうに口いっぱいほおぼっていました。

—写真は越原保育園にて—

るともに、その計画運営に地域の住民の参加を求め、コミュニティ活動の積極的推進をこころざしています

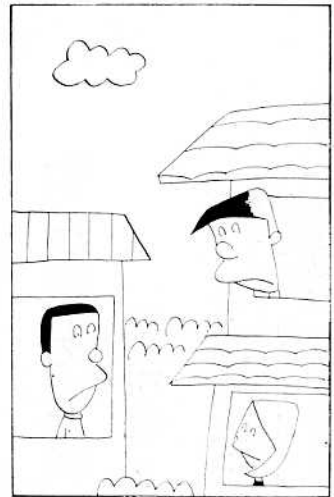


コミュニティ

現代はマイホーム主義の時代といわれています。地域社会も激しい人口移動、生活様式の都市化、核家族化などによって著しく変化し、住民相互の結びつきはますます薄くなっています。その結果、生活環境の悪化、人間疎外などの社会問題が生じています。

このような現代社会で、うるおいのある住みよい地域社会を築くためには、単に道路、学校などの公共施設を整備するにとどまらず、地域住民相互の信頼と連帯感に基づいたコミュニティ(近隣社会)の育成が必要と考えられます。

現在、国や地方自治体が進められているコミュニティ対策は、このような新しいコミュニティを積極的に育成するものです。そのため、地域ごとに計画をつくり、街路、公園、コミュニティセンターなどそれぞれの地域に即した総合的な公共施設の整備を図



作品の糸

あなたの作品をお寄せ下さい
 ・初心者、特に若い人達の投稿を歓迎します。
 ・毎月末までに神戸田口良三宛に出して下さい

- 越前の岸打つ波を聴く宿に鳥賊釣り船の遠き灯の見ゆ 平 安江 武子
- 農薬に己が視力を失ひて幽けくぞ生く農夫の義兄は 平 伊藤 重雄
- 轟々と赤きシヨベルカー初雪の川辺を軋りて舗道を作れり 平 今井 惣十
- 鳴の飛び立つ後に梅もとき雪にまみれしその実散りばふ 神 早瀬 勇造
- 左義長の火に舞ひ上る書始めをよろこび祝ふ子供の声々 神 早瀬 勇造
- 老い母の五年忌の灯の下に居て生前臥せし床を偲べり 平 安江 守平
- 山々の重なり合ひし天辺に炎ゆるが如し紅葉は夕日に 中 小池 いちの
- 冬立ちし宵鳴く虫の声聴かん耳問ひ直し問ひ直し 神 田口 きみ江
- ストーブに石油注ぎつ思ふかなとねを焚きつつ足袋つぎし 平 中丸 とめ
- 壺前に今日一日の加護あれと祈れば匂ふ黄菊かそけく 宮 今井 米子
- ビル街の舗道の隅に街路樹の落葉積りて秋は深めり 宮 古田 光男
- 祭りゆえ山芋軋りて客よびしと娘の婿の声は弾めり 神 桂川 利子
- 総裁選泥沼と化す百五十万愚蒙の票も国政に結ぶ 神 加藤 公一
- 天井も壁も真白きキツナンに坐れば母の老は目立ちぬ 神 安江 幸

山国の一小藩の百姓の業のごときがわが胸に棲む

田口 良三